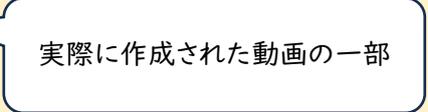


| 事例名 | | | |
|---|--|--|-------------------------------------|
| グループによる動画作成および発表 | | | |
| 校種・学年 | 高等学校・2年 | | |
| 教科・科目・単元・題材 | 保健体育科・保健 | | |
| 学校名〈任意〉 | 京都府立朱雀高等学校 | 事例報告者氏名〈任意〉 | 鈴木 志廣 |
| 機能名（アプリ名） | プレゼンテーションアプリ（PowerPoint,Keynote） 動画作成ソフト（iMovie,CapCut 等） | | |
| ICT 活用のポイント | | | |
| <p>グループによる動画作成時には、作成しやすい環境で、創作意欲を高めること目的に、学校設備にあるマルチメディアルームやスタジオを使用することで、グループ活動をしやすくしたり、グリーンバックを使用できるようにした。また、各グループに対しての声かけ・アドバイスを適切に行ったり、良い動画を作成している班の作品を共有したりするなどして、生徒たちがイメージしやすくなるような働きも行った。</p> | | | |
| 活用場面 | | | |
| <p>① 保健の教科書をもとにグループで発表する内容を決める。</p> <p>② グループで動画編集アプリを使用し、動画を作成する。 動画は、個人が持っている iPad に入っているソフト（iMovie, CapCut 等）で作成する。</p> <p>③ 実際動画を用いた発表を行い、互いに評価をし合う。</p> | |  | <p>マルチメディアルームにてグループで動画を作成している様子</p> |
| <p>食品の安全性と健康</p> | |  | <p>実際に作成された動画の一部</p> |
| 授業者のコメント・児童生徒の主な反応等 | | | |
| <p>・動画を作成する際に、例を表示したり、作成するための手順をみせることで生徒の作成意欲を向上させることができた。</p> <p>・生徒たちは、課題内容を動画にすることに苦労していたが、発表の形式を動画上映にすることで、発表の幅が広がった。また、人前での発表が苦手な生徒にとって、よい形式であり、動画を観た生徒の反応もよかった。</p> | | | |